

令和6年度

# 水道事業経営研究会

現在、我が国の地方公共団体の水道事業を取り巻く経営環境は、急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大などにより一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、国は各地方公共団体に対し「経営戦略」「水道広域化推進プラン」等の作成やコンセッション方式をはじめとする一層のPPP/PFIの推進を促していますが、各地方公共団体単独では、専門職員が不足しており、将来に備えた水道事業経営の改革に取り組むことが困難な状況にあります。

そこで、「水道事業経営研究会」では、公会計の専門家や水道事業関係の民間事業者等と合同で、これからの水道事業経営のあり方について、調査・検討しています。

当研究会は、ご関心のある地方公共団体水道部局の方のご参加をお待ちしております。

また、フィールド調査にご協力いただける自治体を募集しております。ご協力いただける自治体は是非、滋賀大学社会連携センターまでご一報ください。

## 令和6年度 調査・検討テーマ

令和6年度は、これまでの人事や組織（経営リソースのヒト）に関する研究成果を踏まえ、『水道事業経営の在り方（戦略の立て方）』とします。

**会場** 滋賀大学彦根キャンパス内 士魂商才館 もしくは オンライン（Zoom）

**対象** 地方公共団体（事業体）の水道部局の職員等

**参加費** 無料

主催・コーディネーター：滋賀大学 経済学部 教授／産学公連携推進機構 社会連携センター長 横山幸司

協力：株式会社 日水コン

# 令和6年度「水道事業経営研究会」

---

## 活動記録

▶ 2024年5月17日（金） 第1回全体ミーティング・キックオフミーティング  
研究会メンバー9名+オブザーバーメンバーがオンラインにより参加し、キックオフミーティングを実施した。令和6年度研究会の調査・検討テーマなどについて意見交換を行うとともに、当面の作業、今後のスケジュール等について決定した。

▶ 2024年7月17日（水） 第2回全体ミーティング  
研究会メンバー9名がオンラインにより参加し、第2回全体ミーティングを実施した。令和6年度のモデル事業体である長浜市水道企業団へのヒアリングを踏まえ、今後の分析の進め方について協議した。

▶ 2024年9月24日（火） 第3回全体ミーティング  
研究会メンバー10名がオンラインにより参加し、第3回全体ミーティングを実施した。令和6年度の研究テーマについて、現時点での課題整理と今後の分析の進め方について協議した。

▶ 2025年3月  
令和6年度は、水道事業経営における「広域化」および「官民連携」に関する先行事例調査に留まったため、来年度は改めて「水道事業経営の広域連携、官民連携の在り方」をテーマにモデル事業体を選定し、実証的研究を行っていく予定である。